



第76号(H31年3月)

毎月20日頃発行
www.ny-tokyo.com

寒い寒いと言っているうちに、いつのまにか木々が咲き始めました。今年もすごい量の花粉が飛びかっているようですが、皆様体調いかがでしょうか。そろそろヒートテックとはお別れですかね。今日のテーマは**“別れ”**です。

別れがあるから出合いがある

生れ育った町を離れ新天地に赴いた時多くの別れ以上に、また多くの出合いがあった。そして今、生れ育った町に戻ってきた時、本当に多くの人たちと繋がることができたし実感する。 吉川

過去、最も心が痛んだのは愛犬との別れです。3年5カ月前、16歳と8カ月の短い生涯を終えました。ものを言わない分だけ不憫で、何もしてあげられなかった事を後悔して、今でも毎日泣いています。時々また幼犬を迎えようかとも思いますが、再び別れと言う辛い思いを想像するとなかなか踏み切れません。



Nakashima.



4年の大学生活ってあっという間に終わった感じでした。ある友達から卒業式の日にこういう話をくれました。。『これから社会人になるっていうのは、新しい世界に飛び出す事。社会には理不尽なことが沢山だし、いつでも守ってくれる人が近くにいてもなくなる。でもね、責任に伴って自由は約束されるし楽しいこともたくさんあるよ!』卒業して新しい入口でしょう(0^0)♡



“花に嵐のたえもあるぞ” さよならだけが人生だ”と于武陟の唐詩を訳したのは井伏鱒二ですが、私は寺山修司の詩の方が好きです。

さよならだけが人生ならば
また来る春は何だろう
はるかなる春の空の隅に
咲いてる野の百合何だろう

そして最後に、

さよならだけが
人生ならば
人生なんがいりません

と結んでいいます。

ちは”





今はどこにいても気軽に連絡が取れるので、距離が離れて
いる分にはそれほど別れを感じませんが、連絡先が分からない
だけで、近くににいる場合でも別れている気分になる事があります。
竹生

3歳で出会ったアルペンスキーを22歳で引退したときが
人生最大の“卒業式”であり、たくさんの人と、ものと、
結果としてお別れでした。 😊 別れといえば“月上げ”ですね。
サクラバ



「韓国での生活からの別れ」です。

日本人の移民が決定され、何も知らず

どこから、どうやって始めるのかとの考えがよーとありました。
その不安がもつ今の日本生活、いかに危険を犯しています。
LEE



対等の言語、時に専門的知識、娘が楽な(卒業)日も近い。

いや！すばと親離れしているかも。

私休、生、子離れ(卒業)までまだ！

私と娘の顔が変りやす〜

泣の

別れるという言葉の意味は成長に従って、分かるようになっていきます。小さい
時、祖父と別れる時、明日はまた“会える”と思て、そのまゝ笑いたかたに帰りました。
結局、それは最後でした。大きくなると、友達や恋人と別れると、絶対今回
チャンスがあてあえると思てました。でもそれも最後がもれませぬ。只今は一番大切。

新元号

何かにつけて“平成最後の…”と最近耳にします。いよいよ
4月30日の天皇陛下ご退位が目前に…！和暦と西暦の
使いわけが煩わしいとの声があるようですが、そんなことはありません！！
世界中の皆が英語つかりしているし、使いわけが面倒だし、そろそろ
日本語無くしちゃおうか！とはなりませんよね。(笑) 日本語と同じく
元号は世界で唯一、日本だけを使う大切な伝統です。新元号楽しみですね！

の、お話し